

■広島メイプルレッズカップ 中学生大会■

【男子】

▽リーグ戦

メイプルJr 41 (11- 3, 30- 8) 11HC江津
久米中24 (15- 2, 9- 4) 6東中
メイプルJr 38 (18- 4, 20- 4) 8東中
久米中20 (11- 5, 9- 5) 10HC江津
東中24 (14- 9, 10- 12) 21HC江津
メイプルJr 33 (12- 2, 11- 6) 8久米
※順位 ①メイプルJr 3勝②松山市立久米中2勝1敗③
倉敷市立東中1勝2敗④HC江津3敗

【女子】

▽リーグ戦

今治東中等25 (12- 6, 13- 10) 16メイプルJr
東中22 (12- 9, 10- 9) 18HC江津
HC江津26 (14- 8, 12- 9) 17メイプルJr
東中33 (17- 7, 16- 8) 15今治東中等
HC江津20 (9- 11, 11- 8) 19今治東中等
東中25 (14- 3, 11- 7) 10メイプルJr
※順位 ①倉敷市立東中3勝②HC江津2勝1敗③今治東
中等教育学校1勝2敗④メイプルJr 3敗

★ベストセブン★

・男子

荒瀬 廉 (メイプルJr)
山下 倅輝 (メイプルJr)
風呂内海渡 (メイプルJr)
宮内 智大 (久米中)
福田 滉介 (久米中)
高橋 秀斗 (東中)
桑原 大亮 (HC江津)

・女子

坪井 詩 (東中)
森 葵唯 (東中)
泊 琴未 (東中)
砂田 鈴菜 (HC江津)
都志見陽菜 (HC江津)
樋口玲於奈 (今治東中等)
池元 千紘 (メイプルJr)

中四国の中学生激突

初のメイプルカップ

強すぎる！メイプル男子が圧勝

中学生ハンドボールが交流を深め、技術向上とともに豊かな心の育成を狙いとした初めての「広島メイプルレッズカップ中学生大会」が7月8、9日に広島市中区スポーツセンターで開かれた。

中四国から男女各4チームが参加、リーグ戦形式で日ごろの成果を競った。



女子は倉敷東中 余裕ある戦い



男子は春中で準優勝したメイプルジュニアが3試合とも圧倒的な力の差をコートで発揮、完勝でメモリアル優勝を遂げた。

女子は倉敷・東中が序盤でリズムをつかみ、余裕ある戦いで優勝した。

頑張ったご褒美 ベストセブンの面々

メイプルや保護者 審判や運営、クリニックに汗



初のメイプルレッズカップとあって、メイプルレッズの選手やジュニアの保護者も大車輪の活躍で運営を支えた。レフェリーをつとめたほか、公式記録などのオフィシャルに汗だくで奮闘した。

また、試合の合間には参加した中学生にクリニックをしたり、試合後やハーフタイムにはアドバイスを送る(写真)など頼もしい“先輩”ぶりを発揮した。



第30回全国小学生記念大会は4日から京都府京田辺市田辺中央体育館などで開かれる。

県代表の男子・呉ジュニアHC、女子の安芸高田HCの初戦の相手が決まったが、抽選のいたずらかと思われる結果となった。

呉ジュニアHCは鳥取の境港マリンバード、安芸高田HCは山口のIDBスポーツクラブと、いずれも近県対決となった。

呉ジュニアHCは1回戦から、安芸高田HCは2回戦からの登場となる。

日ごろ鍛えた戦力が、全国の舞台でどこまで通用するか楽しみだ。

各カテゴリーの真夏の大会が各地で開かれる中で、県代表の力を出し切って“広島ハンドボール旋風”を起し、全国のファンの目を京都にくぎ付けにしたいところだ。

全小皮肉？な初戦の相手

呉ジュニアは境港マリンバード
安芸高田HCはIDBスポーツ

甲田 男子が1位、女子も続く…

県中学校選手権

第46回県中学校選手権は7月22、23日、中国中学校選手権県予選を兼ねて呉オークアリーナで開かれ、甲田が3年ぶり11度目の男女優勝を飾った。男子は9年連続14度目、女子は3年ぶり20度目の優勝となる。

男子は甲田と修道が圧倒的な強さを発揮して順当に決勝に進出した。決勝では6月の安芸高田市カップで4大会ぶり5度目の優勝をするなど勢いに乗る甲田が前半からリズムをつかみ、修道を寄せつけず頂点を極めた。

女子も甲田と亀山が予想にたがわない戦いで決勝に進出した。前半で大きくリードして優位に試合を進めた甲田が、後半も手綱を緩めることなく着実に得点を重ね圧勝した。

男子の甲田と修道、女子の甲田と亀山の上位2校が5、6日にキリンビバレッジ周南総合スポーツセンターで行われる中国中学校選手権に県代表として出場する。

■県中学校選手権■

【男子】

▽1回戦

甲田39 (18- 1, 21- 0) 1片山
昭和60 (29- 3, 31- 1) 4誠之
昭和北38 (22- 1, 16- 4) 5亀山
修道32 (19- 3, 13- 4) 7呉中央

▽準決勝

甲田51 (22- 7, 29- 8) 15昭和
修道31 (17- 11, 14- 8) 19昭和北

▽決勝

甲田32 (18- 6, 14- 9) 15修道

【女子】

▽1回戦

昭和北12 (6- 4, 6- 6) 10誠之
己斐24 (13- 4, 11- 4) 8昭和

▽準決勝

亀山34 (18- 7, 16- 3) 10昭和北
甲田37 (19- 4, 18- 6) 10己斐

▽決勝

甲田34 (17- 3, 17- 6) 9亀山

■全国クラブ選手権西地区大会■
【女子=アーホルンHC】
▽予選リーグ
●17-25ninja-kagoshima
●9-23HC宮崎
※順位 ③2敗

湧永は大崎 初戦メイプルは三重

目指せ頂点

第42回日本リーグは26日開幕、来年3月までの長丁場で行われる。今シーズンは女子がプレステージ・インターナショナル アランマーレと大阪ラヴィッツの2チームが加盟、男子と同じ9チームが3回戦総当たりで戦う。レギュラーシーズン男女4位までがプレーオフに進出、栄冠を競う。プレーオフは今シーズンからステップラダー方式に変わった。

県内では25試合が予定され湧永は大崎、メイプルは三重と初戦を戦う。

湧永は杉山新監督が全日本社会人選手権での初戦敗退の反省をどう生かした戦いで復活につながるかが注目される。

一方、メイプルは韓国代表の李美京、高山、シュート率賞を獲得した門谷、真継の攻撃は計算できるものの、他の底上げがどこまで出来るかが焦点。韓国遠征での成果も序盤の見どころのひとつだ。

■日本リーグ ホームゲーム日程■

8 / 26	メイプルvs三 重	14 : 00	中区SC
9 / 16	湧永製薬vs琉 球	13 : 00	中区SC
	メイプルvs名 古屋	15 : 00	中区SC
30	アランマーレvs飛騨高山	12 : 30	中区SC
	メイプルvsソ ニー	15 : 00	中区SC
10 / 14	湧永製薬vsトヨタ車体	13 : 00	東区SC
	メイプルvsラヴィッツ	15 : 00	東区SC
28	メイプルvs飛騨高山	14 : 00	東区SC
11 / 3	メイプルvs三 重	14 : 00	東区SC
5	大崎電気vsトヨタ紡織	13 : 00	東区SC
	メイプルvs北國銀行	15 : 00	東区SC
11	メイプルvsアランマーレ	14 : 00	中区SC
18	湧永製薬vs豊田合成	14 : 00	湧永体育館
23	湧永製薬vsトヨタ紡織	14 : 00	湧永体育館
25	湧永製薬vsトヨタ車体	14 : 00	湧永体育館
12 / 9	トヨタ車体vsトヨタ紡織	13 : 00	中区SC
	大同特殊鋼vs琉 球	15 : 00	中区SC
10	北陸電力vsトヨタ車体	13 : 00	中区SC
	湧永製薬vs大同特殊鋼	15 : 00	中区SC
2018年			
1 / 8	メイプルvsソ ニー	14 : 00	東区SC
20	メイプルvsオムロン	14 : 00	東区SC
2 / 10	湧永製薬vsトヨタ自	13 : 00	中区SC
	メイプルvs名 古屋	15 : 00	中区SC
17	湧永製薬vs豊田合成	14 : 00	中区SC
3 / 10	メイプルvsオムロン	14 : 00	中区SC

初の全国1勝お預け
クラブ西のアーホルン

全国クラブ選手権西地区大会は7月1、2日、徳島県鳴門アミノバリューホールで開かれた。結成間もなく出場権を得たアーホルンHCは、初の全国1勝を目指した。しかし壁は厚く、予選リーグ2試合でいずれも白星につなぐことが出来ず敗退した。

▽予選リーグ

●10 (3 -14、7 -12) 26津山
●8 (2 -20、6 -16) 36徳山

呉、予選リーグ敗退 中国高専大会

中国地区高専大会は7月8、9日に松江市総合体育館で開かれた。呉高専など6校が参加。2組に分かれ予選リーグのあと各組2位までが決勝トーナメントを戦った。A組の呉は前年優勝の徳山と津山と戦ったが、いずれも大差で敗れ、4強進出はならなかった。

■日韓定期戦■

▽男子
日本 28 (12-13、16-15) 28 韓国
▽女子
韓国 35 (19- 9、16-16) 25 日本

女子は10点差●

日韓定期戦が7月29日、駒沢体育館で開かれ、シグルドソン監督の初采配となった男子は、28-28で引き分けた。女子は前半10点差をつけられ、後半の巻き返しも届かなかった。

7回目となった日韓戦。ここまで全敗だった男子は1点を争う競り合いを展開、残り4秒、渡辺（トヨタ車体）のサイドシュートが決まり、引き分けに持ち込んだ。岩国工高出身の徳田（筑波大）が最多の8得点と気を吐いた。

昨年アジア選手権の勝利まで2分を挟み30連敗だった日本、対戦成績は13勝3分け40敗となった。

女子は前半10点差をつけられた戦いがすべて。後半は互角だっただけに惜まれる。韓国代表ではメイプルレッズ李美京が終盤に7フルスローで2得点を挙げた。また元メンバー宋海林が加わっている。

ジャパン杯にメイプル板野、堀川、高山

5年ぶりのジャパンカップ（女子）は3、4、6日に熊本県内で行われる。日本代表「おりひめジャパン」、JHL選抜に加え、世界選手権に出場するポランド、アンゴラを加えた4チームでリーグ戦を戦う。

ジャパンカップには日韓戦に続いておりひめジャパンにメイプルレッズからGK板野、CP堀川が招集された。また、JHL選抜にはメイプルレッズの高山が選出された。

劇的…終了直前に同点シュート

シグルドソン初采配ドロー

リーグ開幕控え貴重な実戦

メイプル とくしま国際大会に出場

2020東京五輪でドイツの事前合宿誘致を目指す徳島県の推進事業「とくしま国際大会」が7月22、23日にドイツの名門ブクステファーダーSVを招き、ソニー、香川銀行、メイプルレッズが参加して開かれた。

メイプルレッズはソニーに24-25、香川銀行に25-11の1勝1敗だったが、日本リーグ開幕を控え、実戦経験を積む貴重な戦いとなった。

男子第47回西日本選手権は7月7日、福岡市から3日間、福岡市市民体育館などで、チャレンジャーズとインカレが行われた。

広経大男女インカレ×西日本インカレ

■全日本学生選手権出場決定リーグ■

▽男子A組	桃学大34 (15-13、19-18) 31名桜大	※順位
	愛知大27 (14-10、13-12) 22広経大	①愛知大
	愛知大29 (12- 9、17-10) 19名桜大	②広経大
	広経大33 (14-12、19-15) 27桃学大	2勝
	広経大21 (10- 7、11- 9) 16名桜大	③桃学大
	愛知大26 (12- 9、14-16) 25桃学大	④名桜大
▽女子A組	広経大22 (9 - 5、13- 6) 11名桜大	※順位
	関福大18 (6 - 8、12- 9) 17東学大	①関福大
	東学大25 (13- 6、12- 7) 13名桜大	②東学大
	関福大28 (14- 7、14-10) 17広経大	③広経大
	関福大26 (16- 8、10- 9) 17名桜大	1勝2敗
	東学大21 (9 - 6、12- 8) 14広経大	④名桜大

■チャンピオンシップ■

▽男子決勝	福岡大32 (18-10、14- 9) 19大同大
▽女子決勝	大体大21 (12-12、9 - 7) 19大教大